

● 共に生きるフォーラムふじさわ2022

「誰のための『女性活躍』? ~女性活躍はあなたにとってのチャンス~」

● 「自分も悪いのかも…」とっていませんか?

~配偶者やパートナーからの女性への性暴力をなくすために~

● ジェンダー平等・男女共同参画に関する絵本紹介

● 『緒方貞子という生き方』を読んで

● 編集後記

# かがやけ地球

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



藤 沢 市



# 誰のための「女性活躍」?

～女性活躍はあなたにとってのチャンス～

「共に生きるフォーラムふじさわ2022」が、2022年10月21日(金)に、Fプレイス(藤沢市藤沢公民館・労働会館等複合施設)ホールで開催されました。

## 女性活躍の取組は女性のためだけのものでしょうか?

今回、日本航空株式会社で、グループのD&I<sup>※1</sup>推進に取り組んでいる島大貴さんから、女性活躍について、お話をいただきました。

※1 ダイバーシティ&インクルージョンの略。一人ひとりが尊重され、多様性が受容されることで、個人の力が発揮され、組織や社会の発展や価値創造につなげていくこと。

女性活躍推進という言葉が昨今、耳にする機会が増えてきました。多くの企業では「女性活躍」の実現をめざし、さまざまな取組が進められています。講演では、JALグループがめざす「2025年末までに女性管理職比率30%」に向けた取組の紹介をとおして、各種制度に秘められた想いや女性活躍推進の意義について、お話いただきました。

日本航空株式会社では多様な価値観を反映した人財の活躍を実現し、グループとして更なるステップに進むためにD&Iを推進しています。その原動力となる取組は、「育成・登用の促進」と「両立支援」です。

「育成・登用の促進」は、2025年(令和7年)にグループ内女性管理職比率を30%とすること、「両立支援」は、ライフイベントとの両立を踏まえ、社員が自主的にキャリアを考え、自身のライフステージに対応した働き方を実現することをそれぞれ目標としています。

この「両立支援」は、女性だけの施策と思われるかもしれませんが、当然、男性も含まれます。さらに、日本航空株式会社で働く本人だけでなく、家族が、ライフステージごとに、共に育み、共に分かち合っていくことも意味します。その実現の一つとして、休みを取ることに不安を抱える人が、安心して取得できるよう、制度の周知や、制度の柔軟な運用、そして、チーム全体でサポートし合う環境づくりに積極的に取り組んでいるとのこと。

女性の社会参画に焦点を当てた取組は長い歴史がありますが、その目標となる指標の多くが未だ

達成できていません。誰もがその個性と能力を十分に発揮できるD&Iの点からも、女性活躍は喫緊の課題です。そして、女性活躍の取組を進めることは、結果的に女性だけではなく、年齢・国籍・障がいの有無・性的指向等の属性によらず、すべての人がかかやく社会を実現させる第一歩となるのではないのでしょうか。

(佐野 記)

## 誰もが伸びやかに持てる力を発揮するために

改めてなぜ今、女性活躍やD&Iに取り組む必要があるのでしょうか。その答えは、皆さんが家庭や地域で、職場や学校で、半径3メートルを見渡せばお分かりいただけるはず。自分と全く同じ身体や考え方を持つ人はいない。そう、社会は本来多様なのです。

多様な人々で構成する社会では、一人ひとりが求めること(ニーズ)は異なります。多様なニーズに応えるために、企業であれば新しい製品や顧客向けサービス、自治体であれば施策や市民向けサービスを創り出すイノベーションが求められます。

イノベーションを生み出すためには、「こんなことを言ってみても、やってみてもいいのかな?」という不安を「大丈夫なんだ!」という安心感に変える心理的安全性の高い職場環境が必要です。一人ひとりが安心して能力を発揮できるようにするために「育成・登用の促進」を、働き続ける上で壁があればそれを取り除くための「両立支援」を、女性だけでなくすべての人に対して行っていくことが大切なのです。

ふじさわジェンダー平等プラン推進協議会  
会長 木村 麻紀 さん

講師プロフィール  
島大貴さん  
日本航空株式会社 人財戦略部  
D&I推進グループ  
アシスタントマネジャー

1999年入社。  
羽田空港での勤務を経て、2001年から客室乗務員として国際線を中心に乗務。  
2005年からは客室乗務員のCS推進、サービス品質調査の分析を担当し、2007年から再び客室乗務員として国内線で乗務。  
その後、労働組合役員を経て、2021年10月に復職、11月から現職。  
JALグループに集う多様な人財の活躍を支援し、社員誰もが前向きに自律的にキャリア形成できる会社をめざし、D&I推進の取組を進めている。  
主な担当分野は女性社員の活躍推進。

誰のための「女性活躍」?  
～女性活躍はあなたにとってのチャンス～

2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)広域連携事業  
ジェンダー平等・男女共同参画講演会

共に生きる  
フォーラムふじさわ2022

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 5 5.10

講師 島大貴氏  
日本航空株式会社 人財戦略部  
D&I推進グループ アシスタントマネジャー

日時 2022年10月21日(金)  
(令和4年) 午後1時30分～3時(開場午後1時)

場所 Fプレイス(藤沢市藤沢公民館・労働会館等複合施設)ホール

定員 50人(応募者多数の場合は抽選)

参加費 無料

申込方法 藤沢市ホームページ電子申請から申込み  
または電話 ☎0466-50-3501

申込期限 2022年(令和4年)10月17日(月)午後5時まで

問い合わせ 藤沢市 企画政策部 人権男女共同参画国際課  
TEL 0466-50-3501(直通)/FAX 0466-50-8436

主催:藤沢市



# 「自分も悪いのかも…」と 思っていないませんか？



～配偶者やパートナーからの女性への性暴力をなくすために～

「女性への暴力をなくす」というテーマで、特に繊細な問題として性暴力が挙げられます。

性暴力の被害を受けた女性が「自分に落ち度があったのかもしれない」と捉えて我慢してしまうケースや、「配偶者やパートナーからの性暴力は家庭内の問題として外には出してはいけないこと」として口を閉じてしまうケースが、多いとみられています。

これらの問題に対して、行政でも、相談窓口を設けていますが、多くの女性に広く認知されていない現状があり、解決につながりにくい遠因になっています。

行政をはじめとした様々な相談窓口が性暴力被害の解決に向けアプローチしてくれることを女性が知っていれば、周囲に伝えにくいこの問題を解決する糸口になります。また、悩みを一人で抱え込む、自分自身を責めてしまうといったことを防ぐための一助にもなります。

相談窓口の一つに、  
「ワンストップ支援センター」があることをご存じでしょうか。

電話で「#8891」にコールすることで相談のみならず、具体的に医療的支援（緊急避妊薬の処方のある病院への付き添い）、また同行支援（一人では行きづらい警察や裁判所等司法機関への付き添い）、法的支援（弁護士などの紹介）などトータルの支援を受けることができます。

多くの女性に伝えたいのは、こうした機関の利用を躊躇わないでほしいということです。相談した後でも、一度支援を止めてもらうことは可能です。今まで、他の悩みにおける相談支援を受けたことがない方でも、まずは繋がってみることが大切です。

もちろん、女性が性暴力への悩みや問題を抱えることなく過ごすためには、併せて男性への啓発が必要だと記者は考えています。今後、広く社会において、この問題が認識され、男女を問わず自分自身を振り返ったり考えたりする機会が増えることを期待します。

(山中 記)

## 藤沢市DV相談カード

藤沢市では、DV被害者の様々な状況に応じた相談につなげるため、市や神奈川県等の相談窓口をまとめた「DV相談窓口案内カード」を作成しています。

パートナーとの関係で  
悩んでいませんか？

「やりたくないことを強要される」  
「パートナーといると怖い」

それはDVかもしれません  
一度相談してみませんか？  
費用は無料、秘密は厳守します

相談窓口の詳細は  
二次元コードから  
藤沢市のホームページへ

ふじキュン♡

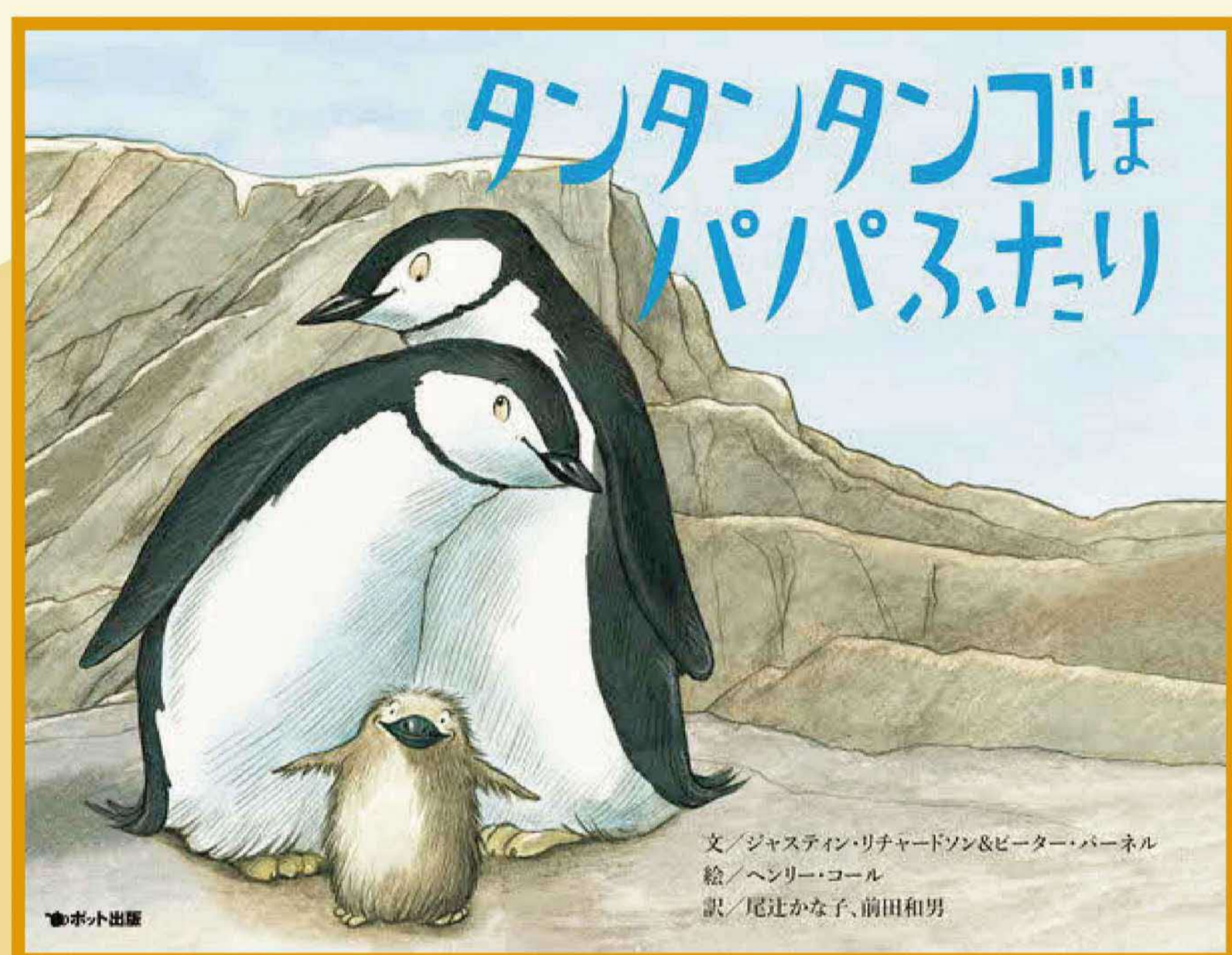


# ジェンダー平等・男女共同参画に関する絵本紹介



ジェンダー平等・男女共同参画社会を実現するために、必要なこと、大切なことについては様々な議論され、法律や制度も整備されてきています。ところが、ややもすれば「自分の生活とは関わりのないところで進められている何か」という受け止めも、まだまだあるのではないのでしょうか。

ここに紹介する絵本は、いわゆる日常の中から紡がれたものです。難しいことばもなく、粹にとらわれない「絵本の世界」から、ジェンダー平等・男女共同参画社会の一端を感じてみませんか。



## タンタンタンゴはパパふたり

文: ジャスティン・リチャードソン&ピーター・パーネル  
絵: ヘンリー・コール  
訳: 尾辻かな子、前田和男 (ポット出版)

オス同士のカップルに育てられるペンギンタンゴと家族の物語。家族の日常のあたたかさ、切なさを描いています。ニューヨークにあるセントラル・パーク動物園で実際にあった話がもとになっています。

## すきなものがちがうけど

文: リンダ・アシュマン 絵: イヴ・コイ 訳: 福本友美子 (ほるぷ出版)

それぞれ自分の好きなものを次から次へと挙げていくふたりの子。くるくる変わるふたりの豊かな表情が愛くるしい。好きなものの違いを通してお互いを知り、「仲良しだ」という思いを抱く様子から、ふたりに満ちる幸福感をともに感じることができます。



## たいせつなこと

作: マーガレット・ワイズ・ブラウン 絵: レナード・ワイズガード  
訳: 内田也哉子 (フレーベル館)

作者はあるがまま、存在そのものの大切さを謳っています。はじめからおわりまで、身の回りの、自然界の、身近な「あるがまま」が静かに美しく綴られています。「あるがまま」ということが大切で、そこには理由などないと気づかせてくれる一冊です。

(鈴木 記)





# 『緒方貞子 という生き方』を読んで

『緒方貞子という生き方』(著者:黒田龍彦/KKベストセラーズ/2002年)  
※絶版となっておりますので、図書館等をご利用ください。

## 緒方貞子氏 略歴

1927年東京生まれ聖心女子大学卒カリフォルニア州立大学大学院政治学博士課程修了  
1974年国際基督教大学助教授 / 1976年日本女性初の国連公使  
1978年国連特命全権公使 / 1978~79年国連児童基金(ユニセフ)執行理事会議長  
1980年上智大学教授 / 1982~85年国連人権委員会日本政府代表  
1991~2000年第8代国連難民高等弁務官  
2001年アフガニスタン難民救援復興支援担当の首相特別代表等を歴任

難民を“ただ可哀そうだから助けてあげるのではなく、人間の尊厳を全うする為にあらゆることをして守りたい。”  
国連難民高等弁務官として「難民救援復興支援」を成し遂げた女性、緒方貞子さんのこれまでの半生を、ジャーナリストの黒田龍彦氏の著書「緒方貞子という生き方」を通じて「女性活躍」の視点から考えてみたい。

## 命を救うということの意味と決断

ユーゴスラビア紛争で、スロベニア、クロアチア、マケドニアがユーゴ連邦から分離独立を果たした後、ボスニア・ヘルツェゴビナの独立宣言で、独立を求めるイスラム系住民と独立に反対するセルビア系住民との戦闘となり、イスラム系住民が難民と化していった。さまざまな政治的背景や問題が存在する中、彼女は、刻々と動く情勢下で対応力を発揮し、「生き延びること」を優先とした救助活動に力を注いだ。

また、カンボジア紛争では、国連のカンボジア会議が主導して和平を成立させ、難民帰還を図った際も、国連難民高等弁務官として、彼女の手腕が発揮された。タイに避難した難民が帰還する際には、キャンプで飼われていた犬(ペット)も一緒に引き揚げられるよう求めたという。彼女の力強いリーダーシップと、同時に芯の通った優しさを知ることができるエピソードである。

## 女性活躍こそが社会全体の進歩

“私は、満足というより進歩したことに勇気づけられています。これは社会全体の進歩です。”  
これは、女性の権利拡大の必要性を訴えた彼女の言葉です。私は、女性の活躍が一步、一步着実に前進していくことは、単に女性の擁護ということではなく、社会全体の進歩につながっているものと信じています。

(前田 記)

## 編集後記

- ・“QRコードから何々が出来ます”と受信のたび、ついてゆけない思いもあるが何とか開け方だけはおぼえた。(前田)
- ・小二の息子に今年の抱負を尋ねると、「世界平和!」と即答が。  
まだ小さなこの子や世界の子どもたちの願いが届いてほしいです。(山中)
- ・昨年は挑戦の年でした。2023年は体調に気を付けつつ挑戦を続けていきたいです。(佐野)
- ・“昆虫食”、ペットフードのニュースに衝撃! こんなところにも食糧難を懸念する試みが…(鈴木)

かがやけ地球は、市民の編集員さんと協力し、年2回発行しています。

編集スタッフ

鈴木 悠子・前田 英孝  
佐野 夏央子・山中 亜莉沙

✉ ご意見・ご感想・今後扱って欲しいテーマなどをお待ちしております!

お問い合わせ先

発行/2023年1月 藤沢市企画政策部人権男女共同平和国際課  
〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1 TEL.0466-50-3501(直通) FAX.0466-50-8436  
URL:<http://city.fujisawa.kanagawa.jp/jinkendanjyo/>  
E-mail:[fj2-jinkendanjyo@city.fujisawa.lg.jp](mailto:fj2-jinkendanjyo@city.fujisawa.lg.jp)